

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌新琴似校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 21日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53人	(回答者数) 48人
○従業者評価実施期間	2024年 10月 21日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別であるからこそ、お子様に合わせた支援内容を設定することができます。	個室での療育と1時間と短い時間だからこそ自身の考えや思いを伝えやすい環境を整え、活動に見通しをもって安心して取り組みに向き合えるように提供しています。	自身の得意なこと、苦手なことをしっかりと理解することで、今取り組むべき内容を明確にし、納得して取り組んでいけるよう促していきます。
2	長期休暇を利用して小集団としての多種多様なイベントを行っている。	普段あまり関わりのないお子様同士と一緒にイベントに参加することで、相手を意識した言動を考慮することができるよう促しています。	協力や役割分担を行わないといけないイベントの企画を検討していきます。
3	個別支援の1時間療育であり、18時からの利用可能時間があるからこそ部活動を行っている中高生も通いやすくなっている。	集団療育では参加時間によって活動内容が限られてしまうが、個別療育のためお子様に合わせた支援を検討しています。	進学への意識や社会ルールを自身の意見のみではなく、指導員や利用している先輩から話を聞くことで思考の幅を拓けていくことが出来る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学習に特化している塾のようなサービスとしてのイメージが保護者様の中で広がっている。	「クラゼミ」といった名前からも塾のようなイメージを持たれがちですが、学習支援の本来の目的や働きを新たな理解やイメージとして拓げていかなくてはいけないと考えています。	学力向上やランク上げとしての支援ではなく、学習に取り組むための意識向上や自身で取り組むための基礎知識や着目点を一緒に見つけていくための支援である事を知っていただく。
2	学校終了後の時間帯に空きコマがなかなか出ないため、ご希望されている時間帯に利用案内を行えていないご家庭が数件出てしまっています。	学習面や学校生活面からの不安があり、進学や進級のタイミングでの契約終了とはならず、高校卒業までの利用を希望されるご家庭が増えているのではないかと考えています。	中学校、高校と学年が上がっていく段階で現状のお子様にとって必要としている支援は何であるのかを保護者様としっかりと話し合い、それぞれのお子様にとって卒業となるラインを視野に入れて利用していただけるよう伝えていく。
3	お子様一人での通所や帰宅が出来てしまうため、毎回保護者様へ会ったのフィードバックが難しく連絡帳や後日数回分をまとめた形でのフィードバックと なってしまっている。	地域柄、保護者様が共働きをされているご家庭も多く皆様お忙しい日々を過ごされていることも要因として考えられます。	保護者様との面談や保護者会、相談会等、保護者様も気軽にお越しいただけるような校舎の雰囲気作りから保護者様向けのイベントも検討し、日常の様子や些細な困り感をも相談いただけるような関係性を再度作っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌新琴似校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

53

回収数

48

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	41	5	0	2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	44	3	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	45	2	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	43	2	0	3		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	46	1	0	1	いつも子どものペースで支援していただきありがとうございます	お子様の状況に合わせた支援や必要としている支援を保護者様、ご本人様と話し合い内容を考え対応させていただいております
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	46	0	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	47	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42	5	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	44	3	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	38	6	0	4		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	15	7	7	20	現状のままを希望します	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	47	0	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	45	2	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	5	0	19	希望してません	お子様の特性や特性を踏まえた関わり方をご家族様と一緒に療育・支援についてお話し、考えを共有できる場を作っていきたいと思っております
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	44	4	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	8	1	7	聞いたら答えていただけるので満足しています	行事前の環境変化、ご家庭での困り感等、いつどんな時でも面談の場を設けていただきたいと思います
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	45	3	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	7	2	23	あっても参加しません	保護者様同士のつながりや話をする場を今後提供できればと考えております。ご都合の付く限りご参加いただけますと幸いです

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	45	1	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	41	4	3	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	32	7	0	9		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	44	0	0	4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	37	3	0	8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	35	3	1	9		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	42	1	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	3	1	6	事故が起こったことがないため分からない	危険予測を行い、細心の注意を払いながら事故が起こらないよう支援、イベントを今後も行ってまいります
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	48	0	0	0	子どもに合わせ対応してくれているため無理せず通えている 行きたくないと言うこともあるが「今日はこれやった！」と報告してくれている。	お子様、保護者様から喜ばれる事業所を目指してまいります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	44	2	0	2	ご褒美シールがもらえるため楽しみに通っている	毎日でも行きたいと思っただけのような満足感のある場を提供してまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	47	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌新琴似校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指定基準上問題ないスペースが確保されています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		担当制をなくし、職員全員が利用者様の対応に入れるようにしています	新しい職員も増えたため、利用者様、保護者様との信頼関係構築に努めています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		ビルテナントのためトイレや給湯室が事業所外にあり、職員が付き添うことで対応しています		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		パテーションを使い、集団で活動できるスペースと個別での活動スペースに区切り、メリハリをつけています		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼、運営会議だけではなく日常的に職員が話し合えるような環境作りを心掛けております		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			第三者評価は現在行われておりません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修や事例検討会に参加しています		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画書更新時にアセスメントシートの配布、保護者様の意向も含め計画書の作成をしています		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		申し送り表や連絡ノートを用いて職員全員で把握できるようにしています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		ご家庭や学校からの希望があった際には直ぐに対応できるよう日頃より準備を行っております	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		希望があった際には直ぐに対応できるよう日頃より準備を行っております	移行される利用者様がいらっしやらなかったため行ったことがありません
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			外部の会議や研修にも参加し、技術や知識の向上を図っていきます
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			お子様の特性や特性を踏まえた関わり方等ご家族様と一緒に療育・支援についてお話し、考えを共有できる場を作っていきたいと思っております	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		今年度は開催することが出来ませんでした 定期的に開催できるよう検討してまいります
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPや月2回ほどのブログ更新、LINEの導入や毎月のお便りにてお知らせを心掛けております	皆様に目を通していただけるようなお便りを作成していけるよう工夫してまいります
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		施錠可能な棚や引き出しに保管しています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		近隣の方が参加できる相談会等を企画していきたいと考えております
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		利用者様全員の参加は難しい状況ではありますが、定期的に防災訓練を行っております	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		災害内容を変え防災訓練を行い、ブログにて公開しております	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		イベント開催前等食べ物を提供する場合にはアレルギー調査を行っております	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年1回以上の研修を行っております	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に重要事項説明書にて説明しております		